

# 糖尿病治療研究会解散のご報告

糖尿病治療研究会は、2021年6月末をもちまして、40年にわたる活動を終了し、解散することになりましたのでご報告申し上げます。

当研究会は、糖尿病運動療法指導基盤の確立を目的に1980年に設立し、「糖尿病運動療法の手引書」(1983年、2001年新版)の刊行をはじめとした成果を達成致しました。

1986年には、「プラクティス(現 糖尿病プラクティス)」(医歯薬出版株)を創刊致しました。本誌が、医療スタッフのレベルアップを図るという当研究会の趣旨を継続し、現在も継続していることは大変うれしいことです。本誌の代々の編集長3名は、現在も当研究会に所属しております。

1999年、日本糖尿病療養指導士認定機構のスタートに合わせて「医療スタッフのための糖尿病セミナー」を開始し、2001年からは、患者のセルフケアの充実に尽力する医療スタッフを表彰する“*We are up for self - care*” Awardも開始しました。当セミナーと“*We are up for self - care*” Awardは約15年にわたり継続し、この間Awardを受賞された医療スタッフは延べ125名を数えました。

2009年、当研究会設立30周年では、「糖尿病リソースガイド」の創刊を監修しました。本年5月には、「糖尿病プラクティス」とコンテンツを提携した新しい「糖尿病リソースガイド」の誕生が予定されており、予想もしなかった展開に驚きながらも、うれしい知らせがありました。

2016年、国民健康・栄養調査で糖尿病有症者、予備群を合わせて2000万人を超えると発表された年には、血糖値の重要性を啓発する日として「10月8日は、糖をはかる日」を制定しました。昨年までの5年間、記念日に合わせて、市民講演会などの様々な啓発活動を実施しました。

「糖をはかる日」記念日は、一般社団法人日本生活習慣病予防協会にて継続して頂けることになりました。

しかしながら、最近の研究会は、啓発団体としての活動が主体で、初期のような研究会としての研究テーマを見出しえない状態であったことは幹事一同忸怩たる想いでありました。また、啓発団体として継続するには、法人化が遅れていることの危惧も感じておりました。

幸いなことに、昨年2020年2月11日、当研究会は、設立時の幹事も招き、設立40年の記念式典を開催することができました。その後の新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みるに、40年という節目を無事に迎えることができたことが、解散の決断の契機となりました。

当研究会は解散しますが、これまでに携わった刊行物や監修したサイトがこれからも継続することで、当研究会が記憶され続けていくことは、たいへん幸運だと思っております。

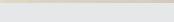
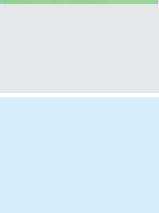
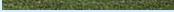
40年の長きにわたり、当研究会の発展にご尽力、ご参画いただいた多くの医療関係者の皆様、今は亡き諸先輩、現顧問・幹事の先生方、多大なご支援を頂戴した関連企業の皆様に心より御礼申し上げます。

最後に、わが国の糖尿病学の研究の更なる進歩を祈念して、解散の挨拶とさせていただきます。

2021年5月吉日  
糖尿病治療研究会  
代表幹事 森 豊  
名誉顧問 池田 義雄



# 糖尿病治療研究会の歴史

1980年	第1回幹事会(設立幹事会、代表幹事 池田義雄) 同年第1回研究会開催	
1983年	「糖尿病運動療法の手引き」刊行	
1984年	「プラクティス」(医歯薬出版株)創刊	
1986年	「わかりやすい糖尿病運動療法のガイド」刊行	
1989年	糖尿病運動療法記念シンポジウム(第10回研究会)開催	
1990年	「糖尿病インスリン療法の手引き」刊行	
1999年	「医療スタッフのための糖尿病セミナー」開始	
2001年	「糖尿病運動療法の手引き (新版)」刊行 「We are up for self - care」Award開始	
2004年	「医療スタッフのための糖尿病情報Box&Net.」刊行開始 研究会ホームページ開設	
2009年	「糖尿病リソースガイド」(監修)の開設	
2016年	「10月8日は糖をはかる日」制定 市民講演会開催開始	
2020年	設立40周年記念式典開催	
2021年	解散(6月30日)	